

かいけ心正こども園では、昨年度の園運営（平成 30 年度教育推進の重点と実践）について職員が自己評価を行いました。その結果と取り組み状況についてお知らせします。

## 1. 平成 30 年度に定めた重点項目に取り組むにあたり設定した学校評価の具体的目標

学校評価の趣旨を理解し自己評価を行うことにより、職員自らが客観的に自園の教育・保育を振り返り、施設等の改善、教育保育内容の改善に取り組んでいくための姿勢を身につける。

## 2. 評価項目の達成及び取り組み内容

職員にアンケートを実施し、各自が各項目について評価をしたものを総合的に判定しました。

### 【評価の基準】

A) 十分達成されている B) 達成されている C) 取り組まれているが、成果が十分でない D) 取り組みが不十分である

【結果の基準】 肯定的評価 (A+B) A: 85%以上 B: 75%以上 C: 65%以上

評価項目	取組内容	結果	理由
1 教育および保育の充実	1 園訓・教育理念・教育方針のもと、0歳児から就学前までの「目指す子どもの姿」を具体的にイメージすることができる。	B	園訓・教育理念・教育方針をしっかりと理解し、各学年で子どもの姿をイメージしながら、おおむね活動を行うことが出来た。今後は、園全体で具体的なイメージを共有し、語り合えるようにしていきたい。
	2 園の全体計画及び教育課程は、認定こども園教育・保育要領の精神を踏まえ園の教育理念・教育方針に則したものになっているか、教職員間の共通理解のもと、定期的に見直しを行うようにしている。	B	平成 30 年度の認定こども園教育保育要領の改訂を踏まえて、認定こども園としての全体計画や教育保育課程、年間計画等を改めて見直しをしている最中であるが、園外研修等に参加した際に、教職員間で情報をしっかりと把握し理解するようにしていきたい。
	3 園の方針や特色を指導計画や保育に生かそうとしている。	A	毎月の指導計画の会議では、各年齢の保育実践を振り返り、園の方針や特色等を生かせるよう計画し、その都度、反省や評価を行った。
2 職員の資質向上	4 全職員がコンプライアンスに関心を持ち、理解に努めている。	B	採用時には、コンプライアンスについての個別研修や必要に応じて研修を行うようにし、全体職員会議でもコンプライアンスについての知識を得るように努めた。
	5 全職員がチームの一員としての自覚を持ち、共通理解を心がけている。	B	朝礼・終礼や月 1 回の全体職員会等で、職員間の情報共有や共通理解が出来るように努めているが、共通理解が出来ていない部分もあるので、各部署を中心に全体で共通理解の方策を考え実践できるよう努めていきたい。
	6 全職員が様々な研修会に、積極的に参加している。	A	教育・保育関係の研修会の他にも、各担当部署に関する研修に出来るだけ参加してきた。教職員の研修伝達会等を取り入れ、園全体での資質向上に努めていきたい。
	7 全職員が、言葉遣いや立ち居振舞いなどに気を配り、子ども達のモデルとしての姿を心掛けている。	B	子どものお手本として心がけるようにしているが、まだ十分でない部分も見られる。一人ひとりが教育者であるという意識を持ち、職員間でも引き続き声かけをしながら実践していきたい。
8 園の教育方針や考え方について、保護者に分かりやすく伝えている。	C	園長便りや学年便り等を定期的に配布し、園の考えや思いを保護者に伝えるように努めてきたが、まだまだ不十分であった。今後も引き続き、さらに見やすく分かりやすく伝えていくことができるよう検討していきたい。	

3 保護者・地域との連携	9	保護者のニーズの把握につとめ、職員間で共通理解をし、要望や苦情に適切な対応をはかっている。	B	管理職を含めた情報共有を行い、保護者の方の要望等にも素早い対応が出来るように努めた。職員間でしっかりと共通理解を持ち、園の方針等を十分に伝えていけるよう、今後も努めていきたい。
	10	小学校や公民館など地域との連携につとめている。	C	毎月、小学校や中学校、公民館と便り等の交換を行い、情報交換に努めている。また、公民館の行事や地域の老人ホームでの行事に年長組や年中組が参加して交流を図っている。今後も更なる連携に努めたい。 (毎年、中学校職場体験の受入実施)
	11	園が行っている子育て支援について具体的な形や内容を理解し、職員全体で協力して行っている。	B	子育て支援担当を中心に、園職員に活動内容や情報を手紙や HP 等で常時発信している。さらに充実するため、担当職員だけでなく、他の職員への協力体制をつくり進めるように努めていきたい。
	12	広く地域の方々に園の教育理念や教育方針を理解してもらえるように、園の情報を HP 等で常にわかりやすく発信している。	C	HP の情報更新を定期的にするよう努めるようにした。また、テレビやラジオ等で園の様子を地域に発信するよう心がけたが、まだまだ不十分であるため、来年度は HP をより活用しやすいよう、リニューアルをする予定である。
	13	様々な防災対策を進め、防災についての知識や訓練をおこなっている。	B	年間計画に伴う避難訓練を進め、職員および園児の防災意識を高めるように努めている。津波避難の際には、ライフジャケットを着用した訓練を行っている。職員の防火訓練も定期的実施している。今後は、避難してからの引き渡し訓練など、さらに実践をして深めていきたい。

### 3. 学校評価の具体的目標や取組み内容の総合的評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価における職員の自己評価を毎年実施することで、職員ひとりひとりが自己点検・自己評価に取り組み、各分担職務を振り返ることができた。また、園全体を見つめ直し頑張っているところや次年度への課題を見つける良い機会となっている。</li> <li>結果の欄に B や C がついている項目については、職員の共通理解・共通意識が重要と感じられる部分が課題と考えられるので、職員全体でしっかり話し合いを持ち、共通理解が出来るように心がけていきたい。</li> <li>昨年度より、保護者の方に、学校評価アンケートにご協力いただき、その結果を見ていくと、園に対しておおむね理解を得られているように感じられた。今後も、引き続き行事または学校評価アンケート等を定期的実施し、保護者の意見や感想を聞く機会を設けて、園運営の参考にしていきたい。</li> <li>園が大切にしている『良い生活習慣』に関しては、園と家庭が共通理解のもと実践しなければなかなか身につかないと思われるので、今後も教職員が手本となれるよう、継続して取り組みを進めながら保護者の方にも協力してもらえるような働きかけを行ってきたい。</li> <li>子育て支援については、園開放の他、様々なイベントとして園に来園していただく機会を増やしてきた。在園児や未就園児の交流の場所を提供できるよう、子育て支援活動の内容を検討していきたい。</li> </ul>

### 4. 平成 31 年度の重点項目

- ① 新しい時代に向けて必要とされる認定こども園作りとして、0歳児からのつながりのある一貫した幼児教育・保育の充実を目指し、教育的特色の強化を図る。
- ② 「かいけ心正こども園」の一員として、質の高い幼児教育の提供のための環境整備に努める。
- ③ 「地域の総合子育て支援センター」として保護者や地域から理解され、安心して利用される施設となるよう努める。